

原油・石油製品市況

2012/2/8 8:03
岡藤商事株式会社

| ニューヨーク市場 | | | | | | | 東京市場 | | |
|-----------------|----|--------|--------|--------|--------|---------|----------------|--------|-----|
| | 限月 | 始値 | 高値 | 安値 | 終値 | 前日比 | | 終値 | 前日比 |
| 原油 | 3月 | 97.13 | 99.13 | 95.84 | 98.41 | 1.50 | 原油先物 (先限) | 53,760 | 790 |
| | 4月 | 97.63 | 99.53 | 96.33 | 98.82 | 1.41 | | | |
| 改質ガソリン (米ドル) | 2月 | 2.9416 | 2.9541 | 2.9172 | 2.9275 | -0.0004 | ガソリン先物 (先限) | 66,920 | 310 |
| | 3月 | 3.0764 | 3.0959 | 3.0569 | 3.0674 | 0.0000 | | | |
| ヒートンクオイル | 2月 | 3.1876 | 3.2208 | 3.1707 | 3.1909 | 0.0202 | 灯油先物 (先限) | 64,470 | 690 |
| | 3月 | 3.1576 | 3.1867 | 3.1419 | 3.1595 | 0.0155 | | | |
| | | 安値 | 高値 | | 安値 | 高値 | | | |
| ガソリンスポット | | 64,600 | 64,900 | ドバイ原油 | 113.54 | 113.56 | | | |
| 灯油スポット | | 69,000 | 69,300 | マソ原油 | 117.94 | 118.04 | | | |
| 軽油スポット | | 65,800 | 66,200 | | | | | | |

【国内石油現物】

7日の京浜現物市場は、ガソリンは上昇。市中買い調達は継続されており確り。これは東西の両市場で行われている様子。灯油も上昇した。調達買いもあり確り。8日以降は全国的にも気温低下の予報があり、調達を急ぐ動きがあるようだ。しかし、売りものもあり上げ幅は小幅となる。

【ニューヨーク石油】

7日のWTI原油は、ドル安を背景に反発した。米国産標準油種WTIの中心限月3月物は前日終値比1.50ドル高で引けた。朝方までは米原油統計で在庫増加が見込まれていることを嫌気し小幅マイナス圏で軟調に推移した。しかし寄り付き後、ギリシャ政府当局者が債務削減交渉の進展を示唆したと伝えられ、欧州の先行き警戒感が後退した。これをきっかけに外国為替市場でユーロが急速に買われドル安が進行したため、ドル建て商品の原油は割安感から急伸。相場は寄り付き前後から短時間で3ドル余り上昇し、電子取引で一時99.13ドルの高値まで値を伸ばした。また、バーナンキ米連邦準備制度理事会(FRB)議長が上院予算委員会の証言で先週末の雇用統計の改善にもかかわらず米経済について慎重な見方を崩さなかったこともドル売り圧力を高め、原油の割安感を後押ししたもよう。このため原油相場は急伸後高止まりした。一方、ブレント原油はForties原油の対ブレントプレミアムは前日から小幅低下。北海原油のアジア向けスポット成約が見込まれるなかで確り。WTIとブレント原油の価格差は拡大傾向にある。

■ 取引証拠金について

商品先物取引は委託に際して取引証拠金等の預託が必要になります。最初に預託する証拠金の額は商品により異なり、最低取引単位(1枚)当たり最高 166,000 円、最低 17,000 円です(2012 年 2 月 1 日現在)。但し、その後の相場の変動によって追加の預託が必要になることがありますので、注意が必要です。また、その額は、商品や相場の変動によって異なり、一様ではありません。

[取引証拠金額一覧表] <http://www.okato.co.jp/okato/expert/pdf/honsyo.pdf>

※証拠金合計額は、各銘柄「売」・「買」の残玉枚数が多い方の値に、各銘柄 1 枚当たりの取引証拠金額を乗じ、これらを合算した金額になります。(追加の預託:「納会月割増額」の必要がある場合は、各銘柄「売」・「買」の残玉枚数の多い方の値に、「納会月割増額」を乗じた金額も加算されます。)

■ 商品先物取引のレバレッジについて

商品先物取引は証拠金取引であるため、取引の対象である総取引金額(約定値段等)に取引単位の倍率と取引数量を乗じて得た額は、取引証拠金の 5~100 倍程度となります。なお、このレバレッジは 2012 年 2 月 1 日時点のものであり、証拠金額と商品価格によって変動いたします。

■ 商品先物取引のリスクについて

商品先物取引は取引証拠金の額に比べて何十倍もの金額の取引を行うため、価格変動が予測に反して推移した場合には大きな損失が発生する可能性があり、また、その変動の幅によっては損失が預託した証拠金を上回る場合がございます。

■ 手数料について

商品先物取引の委託には委託手数料がかかります。インターネット商品先物取引『Expert』のシステムを利用した場合、標準取引は全銘柄共通、通常取引 1 枚あたり往復 756 円(内消費税相当額 36 円)・日計り取引 1 枚あたり往復 378 円(内消費税相当額 18 円)、ミニ取引は全銘柄共通、通常取引 1 枚あたり往復 378 円(内消費税相当額 18 円)・日計り取引 1 枚あたり往復 189 円(内消費税相当額 9 円)の委託手数料がかかります。また、電話による代行注文をお受けした場合、1 枚あたり片道 3,150 円(内消費税相当額 150 円)の委託手数料がかかります。(手数料合計額は往復手数料×取引枚数になります。)

上記の手数料は 2012 年 2 月 1 日時点のものであり、変更される場合があります。

◇ お取引に関する相談は

岡藤商事株式会社 コールセンター(管理課)

東京都中央区新川 2-12-16 TEL 03-3552-0440

日本商品先物取引協会 相談センター本部

東京都中央区日本橋小網町 9-4 TEL 03-3664-6243

ホームページ <http://www.nisshokyo.or.jp/>

※当社のディスクロズ資料は当社または日商協の本支部およびホームページでご確認いただけます。